

2024年度 第1回 福祉職域管理栄養士・ 栄養士リーダー研修会

日時：2024年8月4日（日）9：30～12：50

場所：Web会議（Zoom）

（公社）日本栄養士会福祉職域担当理事の元家玲子氏と（公社）日本栄養士会政策・職域推進事業部長の諸岡歩氏より挨拶があった。

【協議】1. 福祉ビジョンについて

令和6年福祉職域ビジョンは、「地域共生において、誰もが健康で豊かな生活を送ることができるように食を通じて支援する」を軸に示された。

①高齢分野

基本理念；高齢者の自立支援・重度化防止を図るための、専門性の高い栄養ケア・マネジメントを実施する。切れ目ない食支援の体制を確立し、「誰一人取り残さない」食環境を構築する。

基本方針（進むべき方向性）；地域の食と栄養のコーディネーターとして地域連携を推進する。通所施設における栄養食事支援の確立や機能強化型認定栄養ケア・ステーション設置の推進。科学的根拠に基づき実践できる優れた人材の育成を行う。

②障害分野

基本理念；障害児者特有の特性を理解しそれぞれの発育段階に応じた支援を行う。切れ目ない食支援の体制を確立し、「誰一人取り残さない」食環境を構築する。

基本方針（進むべき方向性）；地域の食と栄養のコーディネーターとして地域連携を推進する。生活介護やグループホーム、在宅等における栄養食事支援の確立や機能強化型認定栄養ケア・ステーション設置の推進。科学的根拠に基づき実践できる優れた人材の育成を行う。

③児童分野

基本理念；多様化・複雑化する現代の子育てニーズに対し、それぞれの発育段階に応じた支援を行う。切れ目ない食支援の体制を確立し、「誰一人取り残さない」食環境を構築する。

基本方針（進むべき方向性）；子育て世代包

括支援センターや保育所等における栄養食事支援の確立や認定栄養ケア・ステーション設置の推進。子育て及び子育て支援に関する講習等の実施。個別支援プラン（栄養ケア・マネジメント）の策定。

2. 2024年事業計画について

令和6年度介護報酬、障害福祉サービス等報酬改定対応の研修会を充実させる。オンライン研修はライブとオンデマンド配信にて行う。ニーズに応じたライブでの開催やオンデマンドにて受講機会を増やす実践に即した内容となっている。

3. その他

政策・職域推進事業部運営規定の変更説明があった。6つの職域は医療、学校健康教育、研究教育、公衆衛生、福祉、フリーランス・栄養関連企業等に名称が変わり給与支給元により分類された。

【講演】「福祉職域が目指す方向性について」

（公社）日本栄養士会福祉職域担当理事 元家玲子氏から協議事項令和6年度社会保障制度（介護報酬）改定についての説明と令和6年福祉ビジョンの方向性、福祉栄養士の目指す姿（高齢）について講演があった。

令和6年度改定後の方向性は、課題①栄養ケア・マネジメントの質の担保と標準化に向けた管理栄養士の配置促進、栄養マネジメント強化加算の算定率UP、リハビリテーション・機能訓練、栄養、口腔の一体的取組の周知・促進。課題②医療-介護-障害-地域（在宅）の多職種連携、顔の見える関係づくりや合同研修会の開催。課題③栄養ケア・ステーションの活用と機能強化型認定栄養ケア・ステーションの配置促進。課題④実態形成および次期要望に向けた実態把握があげられた。そして、地域共生

社会における食・栄養の担い手になるために、それぞれが実態形成を進めていくことが重要である。

(公社) 日本栄養士会常任理事福祉担当 加藤すみ子氏から協議事項令和6年度社会保障制度(障害福祉サービス等報酬)改定についての説明と生活介護利用者における健康状態、食事や栄養に関する課題背景、福祉栄養士の目指す姿(障害)について講演があった。

令和6年度改定後の方向性は、①障害者支援施設(入所施設)、福祉型障害児入所施設における栄養ケア・マネジメント(NCM)の充実→専門管理栄養士、認定管理栄養士の取得及び配置促進、NCMエビデンス構築。②通所系サービスにおける、NCM体制の促進→NCMのエビデンス構築。③栄養情報連携の実態形成→経験年数に応じたスキルアップ研修会の実施があげられた。

政策集団として4つのなすべきことの内「実態形成」は「何ができる」かを証明する、「政策形成」は「何ができる」かを制度へ反映することであり日本栄養士会の主たる目的(職責)は「国民(全世界の人類)を栄養の力で健康で幸せにする」ことである。管理栄養士・栄養士

の立場からみる「国民」にとって必要不可欠なモノ・サービスを提供できるようにするため、実態を形成し政策へ落とし込む必要がある。政策提言のための基礎資料づくりは、現在の報酬改定は「EBPM」Evidence-Based Policy Making エビデンスに基づく政策立案である。

そこで同職種間連携ができていますか、他職種と連携は出来ているが同職種管理栄養士・栄養士の連携を進めていき実態形成をしていきましょうと結ばれた。

【講演・演習】「多職種に伝わる事例の書き方～ポイントを押さえて事例を書こう～」

特別養護老人ホーム松林荘 管理栄養士 石村敦志氏から演習を含めた講演があった。

情報をわかりやすく伝えるために、栄養ケアプロセス(NCP)を使用する、必要な情報を簡素な文章で相手を読みやすく理解しやすいように、時系列(過去→現在→未来)に則して事例を記載する。これらの記入手順、具体的な情報の拾い出し、記入方法-SOAP-、栄養診断、PES報告、計画書、栄養介入のまとめについて説明と同時に記入の演習をした。

(文責 福祉 丸山香央理)